

令和7年2月17日

保護者の皆様

板野東小学校長 三原 善仁

令和6年度 学校評価結果について(ご報告)

保護者の皆様には、本年度も本校教育にご理解ご協力を賜りありがとうございました。さて、1月に実施いたしました、学校教育についてのアンケート結果の成果と課題についてご報告させていただきます。また、学校運営協議会においていただいたご意見もお知らせいたします。

○成果

(保護者アンケート)

- ・保護者の評価が一番高かったのが「学校は、家庭での学習課題を提示し、学習習慣の定着を図っている。」で95%以上が肯定的意見で、前年度と比較すると、8%以上も上昇した。これは、毎日、学級担任がきちんと宿題を出すことで、学習習慣の定着だけでなく、基礎学力の定着も積極的に図っていることが評価されたと考えられる。また、「学校は、子どもの体力向上に取り組んでいる。」も肯定的意見が高く、前年度と比較すると、約5%上昇した。これは、集団登校や体育の授業の工夫、放課後の水泳・陸上練習の積極的な取組により、子どもたちの力が伸びていることが評価されたと考えられる。
- ・「学校は、地震・火災・台風・不審者への対応等の安全教育に取り組んでいる。」で約90%が肯定的な意見であった。定期的に行っている避難訓練や引き渡し訓練、交通安全教室などの実施が効果を上げている。
- ・「学校は、子どもに自分の考えや意見を伝える力が身につくよう指導している。」では、肯定的意見が約85%で、5%以上改善された。授業の中で、自分の考えや意見を伝える場面を必ず取り入れたこと、相手に自分の意思を伝えることの大切さを伝え続けたことが効果的であった。

(子どもアンケート)

- ・学習に関する項目(2・11・12・14・15)において、90%以上を超えている。子どもたちが学習を前向きに、頑張ったり、努力しようとしている気持ちの表れだと考えている。また、教師も授業を楽しくする工夫やいきいき学習を根気強く取り組んだ結果とも言える。さらに、「先生は、授業やテストでがんばりを正しく認めてくれている。」の数値が上昇しているので、引き続き、子どもたちが前向きに学習に取り組めるようさらなる工夫をしていく。
- ・「あなたは、学校や先生のことについて、お家の人とよく話をしていますか。」、「学校からのお便りや学校であったことについて、お家の人とよく話をしていますか。」については、前年度より4%以上も上昇しており、家庭における親子のコミュニケーションが図れていることが分かった。学校と家庭が連携を深めていく上で、親子のコミュニケーションは欠かせないので、引き続き、学校でも家庭で学校の会話ができるよう、お便り等の充実を図っていく。

○課題

(保護者アンケート)

- ・「学校は、子ども同士のトラブルや悩みなどに適切に対応している。」「学校は、保護者の相談や学校への要望などに親身に対応している。」がやや否定的な回答が増えた。これは、学校と家庭の連絡が十分ではなく、適切に対応ができなかったと言える。今後はこのようなことがないように、何かあれば家庭への連絡、保護者から相談・要望があれば、親身になって話を聞くなど、教職員全体で課題をさらなる共通理解を図っていく。
- ・「学校は、いじめのない学校・学級づくりに取り組んでいる」では、十分とは言えない結果が表れた。人権教育を学校教育の柱として取り組んでいるが、学習したことが実際の生活場面で生かされていないことが考えられる。これからより一層、学習と生活が結びつくような人権教育の充実を図っていききたい。また、学校のきまりや社会のルールを守るとは、子どもたちが安心して過ごせるためには必要なものである。なぜ、きまりを守ることが大切なのか具体的事例を通して、ソーシャルスキルトレーニングを積極的に実施していく。
- ・「学校は、子どもに学校のきまりや社会のルールを守らせている」では、学校のきまりの中から学校全体で主体的に取り組む項目を決め、守るように働きかけ、評価し、できたことは認めることで、きまりを守ることの良さを知らせていく。

(子どもアンケート)

- ・子どもの評価で一番低かったのが、「家でよく本を読んでいる」である。肯定的に答えた児童は57%であった。前年度より約3%上昇したが、まだまだ十分とは言えない。今後も、朝の読書活動の徹底、週末の本の貸し出し等を積極的に行うことにより、本を読む機会を増やしていく。
- ・「あなたは、みんなに自分の考えや意見を言えていますか。」では、肯定的な意見が80%未満という結果に表れた。授業中に自分の考えを書く時間や発表する時間を設けるようにしていく。そして、考えを書けたことやがんばって発表したことは大いに褒めるようにしていく。

○学校運営協議会でのご意見 未解決

- ・登校時、児童の元気のよい挨拶で元気をもらっている。引き続き、地域の人や保護者のみなさんへの挨拶を続けてほしい。

【全てのアンケート結果については、ホームページに掲載しています。】